



# 研究目的での胚作成に関する議論 (Warnock委員会、1984)

- (前提)
1. 研究目的での胚作成禁止により医学の発展が妨げられる
  2. 偶発的に利用可能となった胚だけでは不可能な研究が存在

## (慎重意見)

1. 余剰胚の利用と、研究目的で作成された胚は倫理的に異なる
2. ヒト胚の倫理的位置に適合しない
3. 有効性のない研究にも多くの胚が作成されるおそれ

## (推進意見)

1. 「移植しない」と決めた胚に発生の可能性は(もともと) ない
2. 認めないと研究範囲が抑制され、ある分野では事実上研究不能  
(たとえば受精過程の研究)
3. 廃棄余剰胚は(良好な胚は移植されるので) 研究材料として不適
4. 卵子凍結・自然周期などの技術が進むと廃棄余剰胚は減少